

	<p>(2) 講話『Never give up!!』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 困難な状況を乗り越えて、パラアスリートとして活躍する講師の方々から「夢・希望」「不撓不屈」「挑戦」に関わる実体験、エピソードを教えてください。 <p>(3) 児童からの質問タイム</p> <p>(4) 活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 感想の交流 ③ お礼状の作成
<p>6 主な成果</p>	<p>○今回は、パラアスリートとの交流を通して、障がいの有無に関わらずに楽しめるスポーツの魅力を感じることができた。また、スポーツは工夫次第で、誰でも楽しめるものになることが分かった。</p> <p>○パラアスリートの講話から“Never give up”の精神を感じ、あきらめずに努力することのすばらしさや、苦しい時には周りの人の力をかりることなどを学ぶことができた。</p> <p>○体験教室後、子どもたち自ら声をかけ、講師の方の車いすを片付けたり、荷物を車まで運んだりする姿が見られた。事業を通して、相手の立場や気持ちを考えて行動することの大切さを感じることができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○車いすバスケットボール体験をするだけでなく、“Never give up”につながる講話の時間を位置付けた。交流後に講話を位置付けたことにより、子どもたちは真剣に話を聴き、多くの質問を投げかけていた。</p> <p>○事業開催日及び内容を保護者、地域住民にも知らせ、参観者を募集した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○保護者、地域住民への参観者を募ったが、あまり参加していただくことができなかった。募集期間を長くすること、事業の開催について事前に発信しておくことが必要だった。</p> <p>○体験する児童を4～6年生に限定したことにより、十分な体験をすることができた。一方で、パラアスリートと触れ合うことができる貴重な機会なので、全校生で取り組めることも企画できればよかった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年、子どもたちが学んだスポーツの魅力と“Never give up”の精神を学ぶことができた。次年度は、ボッチャのルールや技を学ぶ機会を位置付けたい。そして、学習発表会後の時間(予定)に、児童が来校した保護者・地域の方々にボッチャのルールを説明し、参加者が一体となってボッチャに取り組む、オリ・パラタイム(仮称)を開催したい。</p>

